



【東北地方太平洋沖地震の困難な日本を覚えて】

私たちは今、目の前の大惨事に言葉を失い、おびただしい数の死者と困難な中に突然置かれた被災者たちを思い、がく然としています。しかしこの中で、神の子供とされた私たちは何よりも天の窓が開いていることを覚え、神が私たちに一番求めておられること、すなわち「執り成し手」として、祈りによってこの問題に取り組みましょう。

● 先ず全知の神、同情してくださる主イエスを覚えましょう

- ・神は全知です。神は以前からこの地震と津波のことをご存知でしたが、計り知れない御心により、この状況が起きることを許されました。伝道者3：11にあるように、私たちは神の御業を始めから終わりまで見極めることができません。この大惨事の中にも神の最善の御心が働いていること、この中から必ず何か良いものをもたらしてくださることを信仰をもって感謝しましょう。
- ・神はこの災害に巻き込まれ、命を失った人々、今、重軽傷で苦しんでいる人々、愛する者たちを失った人々、家財産を全て無くし、茫然としている人々、一人一人の心を葛藤や悲しみ、絶望をご存知であり、人となられた主イエスは彼らの全ての痛みを感じられ、同情されていることを覚えましょう。
- ・命を失った方々の霊に対し、神はご自分の聖い性質に反する扱いは決してなさいません。必ず、愛と義という基準に従って一人一人を扱われますので、その方々を主なる神に委ねる祈りをしましょう。

● 我々を含め、日本中の方々のために祈りましょう

- ・地震・津波も悲惨な出来事ですが、このような状況の中でこそ、人は本来の使命、つまり「自分の命は他者を生かすためにこそ与えられている」という真理に立ち返るチャンスが与えられます。この真理は神が人の心の奥底に刻み込んだ律法です。既に多くの人たちはこの災害をきっかけに、自分中心的な生き方を反省し、いろいろと我慢することを選び、困難の中にある人のために何かをしようと実際に行動に移ろうとしています。近年、日本は勝ち組負け組などの言葉が表しているように、社会全体に「自分さえよければいい」と極めて自己中心的な考え方が蔓延していたように思います。今回の震災を通して我々を含め、「生きることの意味」を多くの人が問い直し、魂の目覚めが与えられますように。

●被災者・被災地のために祈りましょう

- ・人命救助が一刻も早くなされるように。
- ・ライフライン（水道、電気／ガス、交通、情報）が復旧するように。
- ・水、食糧、被服、その他の物資の援助が速やかになされるよう。
- ・被災者たちの心身が保たれ、慰めと励ましがあるように。特に家族の中で行方不明者、死者が出ている方々のために。
- ・これから始る復旧・復興作業のために。

●行政・関係省庁の責任者、働き人、日本のビジネス・産業のために

- ・首相はじめ、政府、関係省庁、地方の行政に携わりさまざまな判断や決定をする責任者たちのために。
- ・自衛隊、警察、消防、医療関係者のために。
- ・ライフライン復旧工事のために働く全ての人々のために。
- ・国をあげての復旧・復興をするための支えとなる日本の全てのビジネス・産業に携わる人々のために。

●被災地の教会のため、日本の教会のため

- ・被災地の教会が守られ、早期に復旧することができるように
- ・被害を免れた日本の諸教会が心を合わせて祈り、人々の霊的必要性に応える働きをすることができるように。
- ・教会がキリストの手足となって具体的な働きを担えるように。
- ・多くの方々の心が神様に開かれ、霊的な復興が与えられるように。
- ・私たちのような海外日本人教会も教派を越え、心を合わせて執り成しの務めを果たし続けることができるように。

●私たちと直接関わりがある人々を覚えましょう

- ・被災地にある関係者のために。
- ・生活の立て直しのために、また心が強くされるように。

平和の祈り

主よ。わたしを
平和の道具とさせてください

わたしにもたらせてください...

憎しみのあるところに愛を、
罪のあるところに赦しを、
争いのあるところに一致を、
誤りのあるところに真理を、
疑いのあるところに信仰を、
絶望のあるところに希望を、
闇のあるところに光を、
悲しみのあるところには喜びを。

ああ、主よ、
わたしに求めさせてください...

慰められるよりも慰めることを、
理解されるよりも理解することを、
愛されるよりも愛することを。

人は自分を捨ててこそ、それを受け、
自分を忘れてこそ、自分を見出し、
赦してこそ、赦され、
死んでこそ、
永遠のいのちによみがえるからです。